



校長室だより

2025 年 5 月 1 6 日
丹波市立進修小学校
校長 松田 垂矢

「スキルタイム」と「ノーチャイム」で自律する力を育てる第一歩に

今年度は、朝の8時10分からスキルタイムを実施しています。5分間という短い時間ですが、目的は、自律する力をつけるためです。

昨年度は、スキルタイムの時間を設けず、各学年で必要なときに習熟タイムを設けていました。今年度から、学校全体で取り組みます。

スキルタイムの内容は、一人一人自分で決めます。低学年はまだ先生が決めたことやみんなと同じことをすることもありますが、少しずつ自分で選んで学習していけるようになります。

何が大事なのかというと、自分が何がしたいのか、何をわかりたいのかを知り、そのために何を学習したいのかを自分で考えて決定し、行動することです。これが主体性を身につけることにつながります。たった5分のスキルタイムですが、自分事として取り組むことで集中力がつき、学習したことが自分の力となっていきます。

こういった自己決定の場をスキルタイムだけでなく、授業や行事でも増やしていきたいと思っています。子どものためにと思って支援をしすぎたり、ルールを決めすぎたりしていることが子どもの考える力を奪っていると感じることがあります。これから予測困難な時代を生き抜く子どもたちには、自分で考え、判断し行動していく力が必要です。

「自己決定する」を大事に、自分に合った方法で、自分のやりたい内容をスキルタイムで学習していきます。

もう一つ、自律する力の育成に「ノーチャイム」にも取り組んでいます。1日3回のチャイムをなくしました。時計を見て、何分に遊びをやめたら授業に間に合うかを自分で考え行動できることを目的にしています。

朝登校して準備をしたら元気よく外で遊ぶ子がいます。朝遊びは、体や脳にとって、とても良いと言われています。力いっぱい遊んでチャイムがなって、だらだらと教室に戻っていた子どもたちが、4月から少しずつ自分で考えて教室に戻ってこれるようになりました。

こういった自律へ向かう行動を積み重ねていきたいと思っています。

